



わかば

流山市立北部中学校
平成30年10月18日
生徒数 494名

『感動を味わう』

校長 金子 邦晃

猛暑の傷は体の奥で消えてはいませんが、青い空、白い雲間から柔らかかに注ぐ秋の日差しは、校庭をかける子供達を包んで、少しずつ身体を癒やしてくれている気がします。『〇〇の秋』本番になりました。中学校は一年間の折り返しを迎えています。9月23日日曜日に第72回の体育祭を開催いたしました。伝統を引き継ぎながら、「獅子創造～平成最後の大激闘～」のテーマを掲げ、今年はずっと盛り上げたいという思いで生徒は奮闘していました。応援団や生徒会役員を中心に、自分たちがリードし、模範となる姿を見せていたことが大変印象的でした。来賓の方々、多くの地域・保護者の皆様に見守られ、ご声援いただいたことに大変感謝申し上げます。現在は、10月26日（金）流星祭に向けて、各学級とも最後の追い込みに余念がありません。校舎から歌声が降ってくるという表現がぴったりで、合唱練習の時間は教室からすてきなハーモニーが聞こえてきます。当日は流山市文化会館での披露になります。会場に負けない、それぞれのクラスの頑張り個性あふれる歌声が聴けることを楽しみに思います。

さて、新聞（朝日新聞10月14日朝刊）にも取り上げられましたが、北中の吹奏楽部が、東日本吹奏楽コンクールに出場いたしました。この大会に出場するためには、まず千葉県吹奏楽コンクールで金賞をとり千葉県の代表（参加160校から県代表6校選出）として、茨城、栃木、千葉、神奈川のそれぞれの県代表が参加する東関東吹奏楽コンクール（宇都宮市）に参加します。そこで金賞をとった東関東大会代表6校が、さらに上位大会である東日本吹奏楽コンクールに参加できるというものです。東日本吹奏楽コンクールは、北海道、東北、東関東、西関東、東京、北陸のそれぞれの選りすぐりの代表が参加する、まさに中学校の吹奏楽コンクールでは最高峰のコンクールになります。東関東吹奏楽コンクールで全体の1位通過を果たした北部中は、初めての東日本コンクールでしたが、自信をもって臨むことができました。本番の緊張感の中でも、いつもの流れ、落ち着いた準備をこなし、大野先生の指揮により演奏が始まると、全てのコンクールでそうだったように、観客は一瞬にして演奏に引き込まれます。演奏の盛り上がりと共に、胸が熱くなるような感動が巡ってきます。一瞬で切るような演奏の終わりを迎えると、観客は金縛りにあったように感動の余韻にひたります。その後すばらしい演奏に大きな拍手がわき上がります。「感動を味わう」という表現でしか言い表せませんでした。結果は銀賞でしたが、観客の誰もが北部中の演奏を楽しんだのではないかと思います。また吹奏楽部の部員も全て力を出し切った気持ちを持てた演奏だったと思います。

流星祭では、その演奏を発表します。『華の伽羅奢～花も花なれ人も人なれ～』どうぞ多くの方々に聴いていただきたいと思っています。吹奏楽部は北部中体育館で発表し、流星祭の合唱コンクールは文化会館で行います。ぜひ感動を味わっていただきたいと思っています。